

手を震わせながら 一年生全員分をはりつけました
完成した時は感動でいばいてした

自分のハートだけ
をみても、何のこっ
ちゃわからない、だ
けど毎年43人の作品
をつなぐと、何と何
と、一つの美しい情
景が浮かびあがって
くる。これがドット
アートやね。

一人につき140
個もの小さなマス
をぬっていかねばば
らない。色がマスか
らばみだりにすると、

当然のことばがうまい作品にならばいい。自分が自分のパートで失敗すると、作品全体がオジャンになる。そんなプレッシャーもあるよね。ほんとうにみんは、地道な作業をよくがんばったね。

そして一人一人の作品が完成。それをほりつけていく作業、緊張するよね。ちよ

「とズレるにけで、
せ、かくの作品が、
一人一人のがんばり
がムダには、こしま
う。まさに「心が虚
える」思いで作業し
てくれた文化界表会
委員のみんな、ほん
とうに貴重は経験さ
しにゆ。」

僕から一年生はしんどい」「ドットアート」というものをしました。

ドットアートとは、四角いマスの中に色の濃淡がかりてあってその濃淡が示しているところから色をぬるのがドットアートです。

そのドットアートは400個ぐらいぬりました。

集中力が必要だし、忍耐力も必要です。

その難しさを僕らはこなしたのです。はらしにドットアートができています。

そのドットアートでできた作品は一人の人が集まると雪がふもった山の近くでスキージャンプをしているか絵です。

近くで見るとはにわからなければいけど、遠くから見るとその絵がはにわかります。

とてもドットアートという作業はしんどいということがわかりました。

私は文化発表会がとても楽しかったです。は
ぜかというところ、ドットアートをすると聞いてこ
いにからます。先輩方からも、め、ちゃ楽し
か、たぞといわれていたのですが、よくわく
してしました。だから、文化発表会の委員に
なりました。

そして、ドットアート製作が始まり、私が担当したところは町のところでした。色々々色をぬりました。一番ぬる場所が多かったのは白でした。白をぬるのに二時間もかかりました。

それから、音がぬ、二枚一枚をはりつけ
るのが文庫本調の好事なので、放課後にのこ
って真剣には、ていきました。これがまた大
変で、一ミリでもずれると松がわからなくは
なってしまうので、手を震わせばがう一年全員
分きはりました。

完成した時は感動ぞい、ほいでした。
私は文藝委員には、ふふか、とあらため
て思ひました。

私が初めて文化発表会という行事があると聞いた時は、何か昔の歴史を發表するのかわかと思つていたけれど、全然直ぐく、ビックリしていました。

ドットアートは、年輩した先輩の映像を見た時、面倒くさいと思つていたけれど、やていくうちにのめりこんでいて、楽しかったです。文藝委員だったから、最初に完成した作品を見れると思つてとてもめくわしくしていました。ドットアートは、はじめて見るほど写真みたいに、てすが、かたです。

二年生の劇は、最初のダンスから最後の歌までが全てよくて、ビックリしました。ライガッパが面白かったです。

保健委員の発表も面白かったです。

三年生の合唱は、私達一年生とは全く違って、男と女の子の音がキレイにかみ合つて感動しました。

55 期生の仲間たち

東三国中学校 1 年生学年通信 vol 2015 年 11 月 5 日(木)

$$1 < \alpha$$

$$N \geq L$$
$$1 < d_1$$

$$A_{12}$$

近づいてきた戦争が起るのでは ないかと、とても心配です

二年生の学年劇は「沖繩戦」をテーマにした、重い内容で笑いの要素も入れ、わかりやすく構成されていましてね。

劇を観ながら、「戦争」についていろいろ考えさせられました。

一人の人間が死ぬこと、それはその人の家族や知り人にと

って、すごい大きなことですよ。人の死は尊厳なものですよ。にもかかわらず、戦争では何十万もの人が一瞬にして殺されます。その何百万の一人一人に家族がいる、大切な人がいて、その中には赤ちゃんもいて、小さい子どももいて、お母さんもお父さん

寄りついて、若者もいて。理不尽な死が、死はよくてもいい人の死が、いっばいあります。犠牲になるのは普通の人が、弱い立場の人です。

日本は今日に戦争の結果をひき受けています。沖縄は現在どうなっていますか。新聞やテレビのニュースにも注目しましょう。

十月三十日に初めての文化発表会が行われました。僕達二年生はドットアートをしました。とても細かい作業でとても大変でしたが、完成したときの感動はとて大変なものでした。僕達は体育館で二年生の劇をみました。それは沖縄の戦争の話をしました。戦争はあつらい戦争、戦争はいい戦争、戦争はけ、してや、こはいけ、いい戦争、戦争はよくよく、マキマキした。近づいてきた戦争が起るのでは、いかに、とても心配です。

その他にはおもしろ写真や三年生の合唱を聞いたりしました。とても一番すごかったのが、吹奏部です。ワキも演奏をしていました。一番最後の斐伊川に流るるクミナダ姫の涙はよく分かります。たけどスゴイとゆうことがよく伝わり、マキマキした。今年の文化発表会が、とても楽しみです。

3<み>
M<ん>

文化発表会が、たのしみ、実行委員です。録音とかは合わせる作業とか色々、てにいへんだ、たけど、自分たちで作った作品が、いかに感動しました。

二年生が戦争の劇をしていました。戦争がどんなものかとか、どれにけいひんとか、よく分かりました。戦争体験者の人の話を聞くと、その内容がよくて、聞くと、劇をや、てると分かりやすかったです。ダンスとライザップがおもしろかったです。来年は自分たちが劇をするから、いい発表をしたいです。二年生の劇が一番印象に残っています。

三年生は合唱をしていました。三組とも合唱がうまく、とても優勝するかなと、思っていました。練習する期間が短くても、あんな合唱が、できるのは、すごいと思います。

今年は見ると、おもしろい、たけど、来年は新一年生を楽しませるよう、発表をしたいと思います。

ばくにと、最初の文化発表会は予想していたものよりも、もっとおもしろいものでした。

プログラムの最初は二年生のげきでした。二年生の劇は最初はおもしろい内容でしたが、後半は戦争の悲惨さ、うける内容でした。よくは入るは被害者うけるのは原爆を投下された広島や、長崎くらいだと思、ていけど、沖縄も、い被害者うけるのを知りました。作品展示を見て、見る時間、よくはあまり、くり見を回ることができませんでした。理由は生徒会のはやで、地域の方々を案内する仕事があったからです。

三年生の合唱は、どれも優勝賞を、決め、い、く、ら、い、い、や、つ、た、た、で、先生達が頭を悩ませ、理由もよく分かりました。

来年も、い、く、ら、い、が、劇をや、る、は、う、今、の、二年生を、い、く、ら、い、の、勢、い、で、がんば、り、たい、です。

3<み>
K<ん>

2<み>
Y<ん>

55 期生の仲間たち

東三国中学校 1 年生学年通信 vol.31 2015 年 11 月 6 日(金)